

2005年11月期 中間決算説明会

2005年7月20日

NACHI 株式会社 不二越

目 次

第1部 連結決算の概要

1. 中間連結決算の概要 2 ~ 8

2. 通期計画 9 ~ 12

第2部 経営のとり組み 13 ~ 21

1. 中間連結決算の概要

上期実績

(単位:億円)

	2004年度 上期(A)	2005年度 上期(B)	対前年同期 (%) (B) - (A)
売上高	776	848	(+9.3%) +72
営業利益	(5.6%) 43	(7.3%) 62	(+43.1%) +18
経常利益	(4.6%) 36	(6.5%) 55	(+54.4%) +19
当期純利益	18	28	(+52.8%) +9
総資産	1,454	1,529	+75
株主資本	(20.5%) 297	(26.2%) 400	+102
有利子負債	581	488	92
設備投資	51	57	+6
減価償却費	32	35	+3
人 員	5,320	5,297	23

2

会社の所在地別の概況

上期実績

売上高

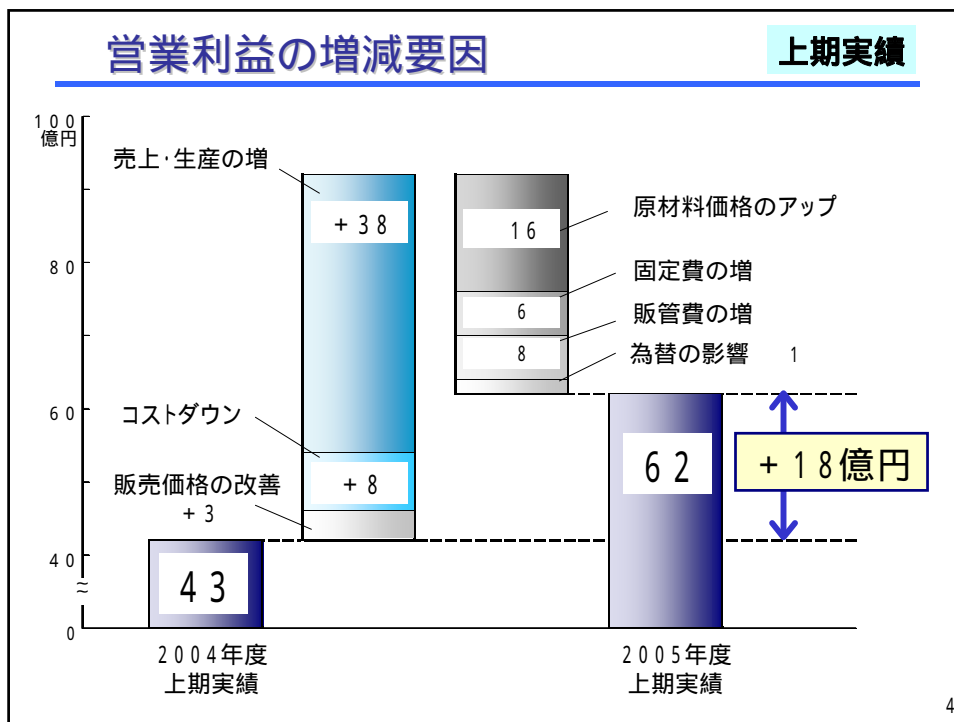
(単位:億円)

営業利益

(単位:億円)

		2004年度 上期(A)	2005年度 上期(B)	増 減 (B) - (A)	2004年度 上期(A)	2005年度 上期(B)	増 減 (B) - (A)	
単 独		627	697	+70	28	47	+19	
子 会 社	国 内	販 売	130	113	17	3	3	0
		生 産	162	173	+11	5	7	+2
			292	287	5	8	10	+2
	海 外	米 州	84	89	+5	3	6	+3
		欧 州	35	42	+7	1	0	1
		ア ジ ア	31	41	+10	2	2	0
		149	171	+22	6	8	+2	
計	442	459	+17	14	18	+4		
小 計		1,069	1,156	+87	42	65	+23	
消去・連結調整		293	308	15	1	3	4	
連結売上高		776	848	+72	43	62	+18	

3



事業セグメント別 売上・営業利益 上期実績

(単位:億円)

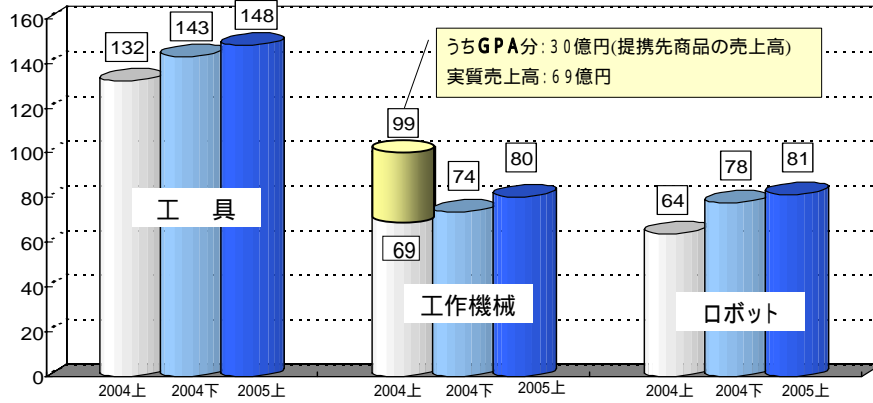
			2004年度 上期(A)	2005年度 上期(B)	対前年同期 (%) (B) - (A)			
機 械 工 具	売 上 高	工 具	132	148	(+12.4%)	+16		
		工 作 機 械	99	80	(-18.9%)	-18		
		口 ボ ッ ト	64	81	(+26.7%)	+17		
		計	296	310	(+5.0%)	+14		
	営 業 利 益	(4.7%)	13	(8.5%)	26	(-1.9倍)	+12	
部 品	売 上 高	ベ ア リ ン グ	263	287	(+9.2%)	+24		
		油 圧 機 器	132	155	(+18.0%)	+23		
		計	395	443	(+12.1%)	+47		
	営 業 利 益	(7.6%)	30	(7.0%)	31	(+2.4%)	+1	
材 料	売 上 高	特 殊 鋼	57	66	(+16.8%)	+9		
		そ の 他	28	28	(-)	0		
	計	85	94	(+11.0%)	+9			
他	営 業 利 益	(-)	0	(5.0%)	4	(-)	+5	
売 上 高 合 計			776	848	(+9.3%)	+72		
営 業 利 益 合 計			(5.6%)	43	(7.3%)	62	(+43.1%)	+18

5

主要事業の売上高 (機械工具)

上期実績

(単位:億円)



<工具>

- ・自動車のエンジン・トランスミッションを加工する精密工具が拡大。
- ・その他、航空機エンジン、産業機械・市販向けなどが伸長。

<工作機械>

- ・前年同期にGPAの大型案件がありトータルで減収となるが、実質的な売上高は、自動車業界の好調を受けて、大幅に拡大。

<ロボット>

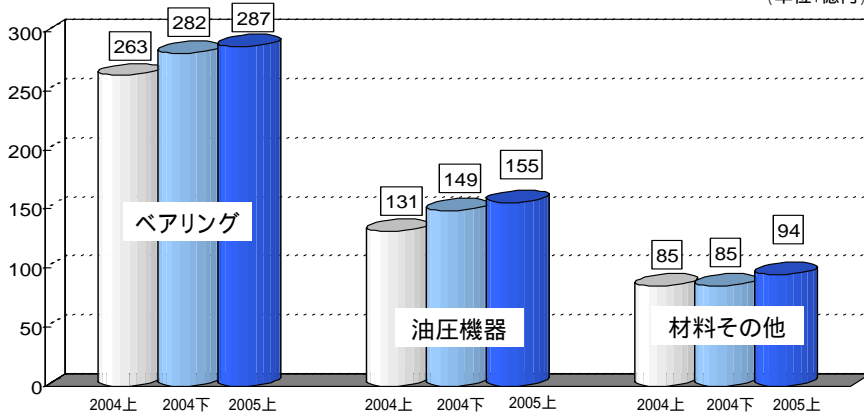
- ・日系自動車メーカーの海外進出や国内の生産能力増強を受けて、売上が拡大。

6

主要事業の売上高 (部品・材料その他)

上期実績

(単位:億円)



<ベアリング>

- ・自動車用高機能ベアリングは、世界三種で、ひき続き拡大。
- ・また、工作機械、印刷機械、減速機、建機・農機など産業機械向けの精密ベアリングが伸長。

<油圧機器>

- ・建設機械、工作機械、プレス機械など産業機械向けが大きく伸びた。
- ・カーコントロールバルブも、需要拡大、新形式の参入など、堅調に推移。

<材料その他>

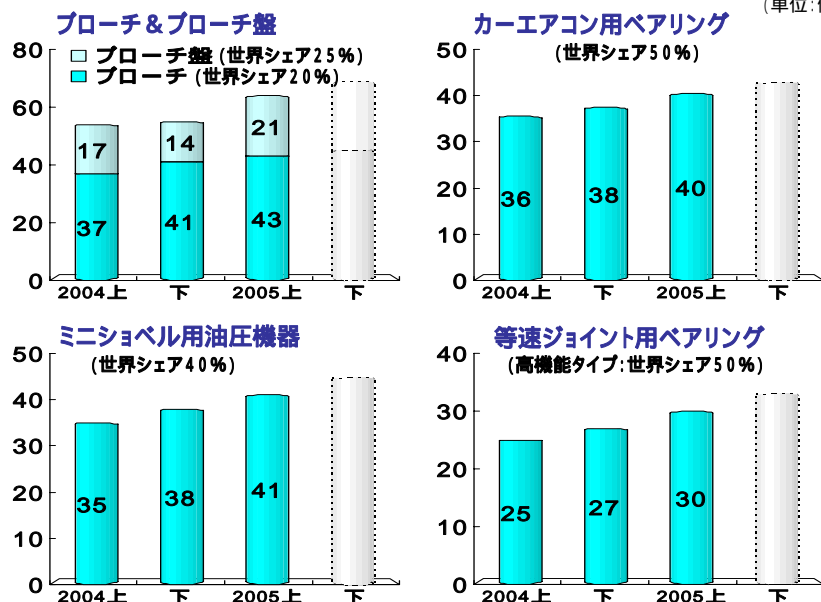
- ・特殊鋼の用途拡大や価格は正、また、熱処理・コーティング装置が拡大した。

7

主な世界トップシェア商品の動向

上期実績

(単位:億円)



8

2. 2005年11月期の計画

通期計画

(単位:億円)

	2004年度 実績(A)	2005年度 計画(B)	増減 (%) (B) - (A)
売上高	1,588	1,700	(+7.0%) + 111
営業利益	(6.3%) 100	(7.1%) 120	(+19.7%) + 20
経常利益	(5.3%) 84	(6.2%) 105	(+24.1%) + 20
当期純利益	41	47	(+14.5%) + 7
総資産	1,512	1,550	+ 37
株主資本	(25.0%) 378	(27.1%) 420	+ 41
有利子負債	532	480	52
設備投資	107	135	+ 28
減価償却費	65	71	+ 6
人 員	5,249	5,300	+ 51

9

会社の所在地別の計画

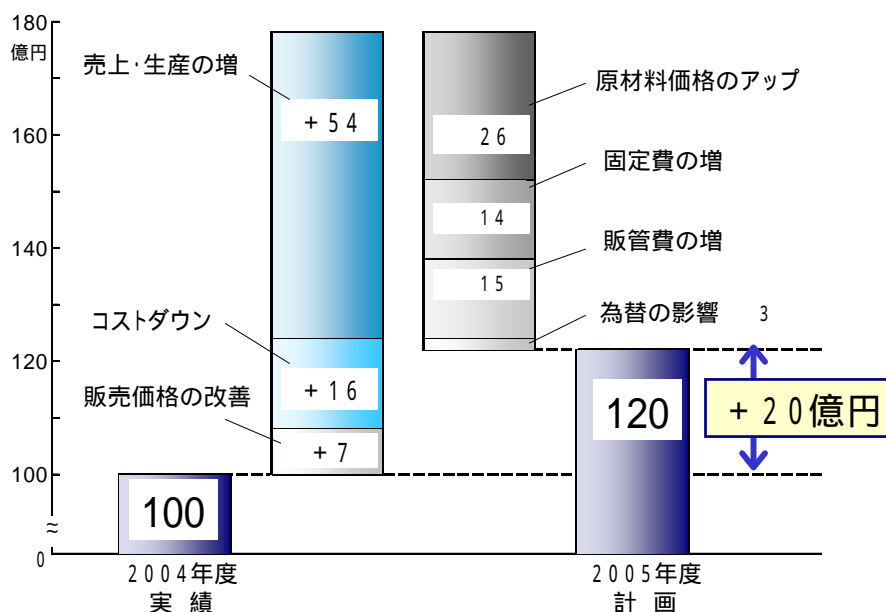
通期計画

売上高			(単位:億円)	営業利益			(単位:億円)		
		2004年度 実績(A)	2005年度 計画(B)	増減 (B) - (A)	2004年度 実績(A)	2005年度 計画(B)	増減 (B) - (A)		
単 独			1,284	1,410	+126	65	90	+25	
子 会 社	国 内	販 売	249	231	18	7	7	0	
		生 産	330	354	+24	14	15	+1	
			579	585	+6	21	22	+1	
	海 外	米 州	180	190	+10	8	12	+3	
		欧 州	81	82	+1	1	1	0	
		ア ジ ア	66	80	+14	3	3	0	
			327	352	+25	13	16	+3	
	計		906	937	+31	34	38	+4	
	小 計			2,190	2,347	+157	98	128	+29
	消去・連結調整			601	647	46	2	8	10
連結売上高			1,588	1,700	+111	100	120	+20	

10

営業利益の増減要因

通期計画



11

事業セグメント別 売上・営業利益

通期計画

(単位:億円)

			2004年度 実績(A)	2005年度 計画(B)	増減 (%) (B) - (A)
機 械 工 具	売 上 高	工 具	275	300	(+ 9.0%) + 24
		工 作 機 械	173	165	(- 4.8%) 8
		口 ボ ッ ト	142	160	(+ 12.1%) + 17
		計	591	625	(+ 5.7%) + 33
	営 業 利 益	(4.8%) 28	(7.0%) 44	(1.5倍) + 15	
部	売 上 高	ペ ア リ ン グ	546	576	(+ 5.5%) + 29
		油 圧 機 器	281	312	(+ 11.0%) + 31
		計	827	888	(+ 7.4%) + 60
営 業 利 益	(8.2%) 68	(7.9%) 70	(+ 3.0%) + 2		
材 料	売 上 高	特 殊 鋼	114	130	(+ 14.0%) + 15
		そ の 他	56	57	(+ 1.1%) + 1
		計	170	187	(+ 9.8%) + 16
他	営 業 利 益	(2.1%) 3	(3.2%) 6	(2.0倍) + 3	
売 上 高 合 計			1,588	1,700	(+ 7.0%) + 111
営 業 利 益 合 計			(6.3%) 100	(7.1%) 120	(+ 19.7%) + 20

12

第2部 経営のとり組み

環境認識と経営スタンス

市場の位置づけ

機会損失をなくし、安定した利益成長へ

- ・生産体制を強化
- ・新商品・新事業展開、営業展開
- ・活性化する

13

環境認識と経営スタンス

< 環境認識 > … 警戒を要す

景気動向

- ・国内は、自動車・産業機械業界が好調持続
- ・一方、海外は、中国の調整、アメリカ製造業の低調、EUの足並み不揃いなど

資源・エネルギー問題… ボトルネックインフレ

- ・価格の高騰、調達難

< 経営スタンス > … 安定的な利益成長

まず、足もとを固める

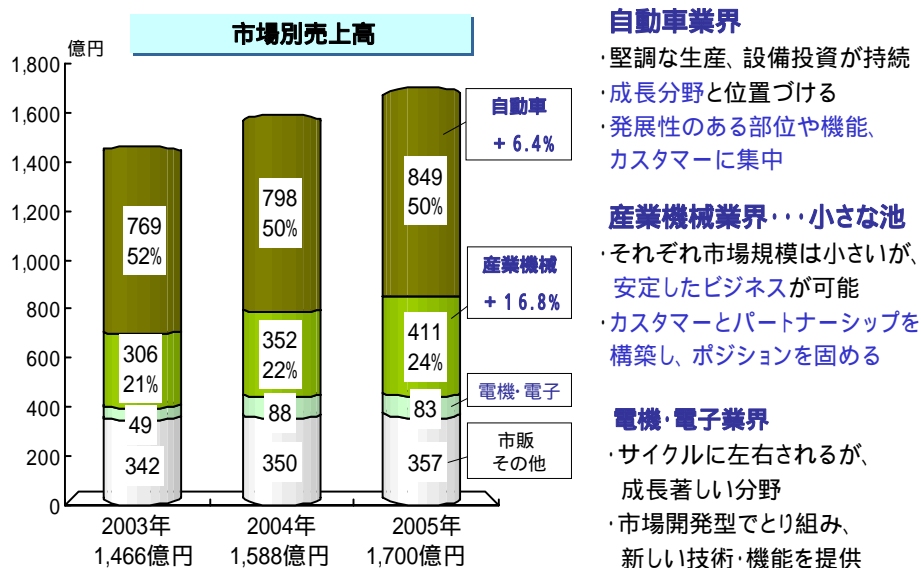
(機会損失をなくす)

その上で、安定した利益成長をめざす

(成長機会を開発していく)

14

市場の位置づけ



15

生産体制を強化

自動車など成長分野向けの生産設備・生産方法を近代化
現状、競争優位商品はフル生産 機会損失のおそれ
生産性・生産能力をひき上げ、成長機会をつくりだす

ブローチの生産体制を拡充

- ・新工場を建設(2005年9月竣工)生産能力1.4倍へ
 - ・自動車T/M用
(大径ヘリカルブローチほか)
 - ・航空機・発電用
(クリスマスツリー型ブローチ)



大型ロボット事業を強化

- ・大型・重可搬ロボットの専用工場を新設(2005年6月稼動)
大型ロボット月300台 400台へ
重量物搬送用、
大型ガラス基板搬送用ロボットなど



16

生産体制を強化

自動車用高機能ベアリングの世界三極生産を拡大

カーエアコン用、等速ジョイント用ベアリング

- ・チェコ(5月、量産開始)
- ・タイ(6月、第二工場を稼動)
- ・中国(05年末、フル生産へ)
- ・ブラジル、アメリカの増強など



ミニショベル用油圧ポンプ・モーターの生産能力を拡大

工場の増設、生産ラインの大幅な見直し
2005年11月完了 生産能力1.3倍

工作機械、印刷機械、減速機用など、
産業機械用高機能ベアリングの生産能力拡大



17

生産体制を強化

事業のシナジーを生産面で活かす

社内のロボット活用を推進

現状150台稼働 当面300台へ

- ・油圧機器、ベアリング、工具、マテリアル部門の各工程で高機能ロボット(視覚・力センサー等)を導入し、生産性、品質を向上する。



社内機の活用

- ・精密工具研削盤、ベアリング研削盤
- ・工具、ベアリングの熱処理装置



- ・アプリケーション技術を蓄積し、カスタマーへよこ展開

18

新商品・新事業展開、営業展開

工具の再研削・再コーティング事業を拡大
コーティング装置、拠点を整備・拡充

次世代DVD用の超精密加工機械を市場投入
「ナノアスファ」



カーコントロールバルブ事業を拡大

A/T用電磁弁の新商品、次期中核商品への展開

新しい機械加工システムの市場を拡大

- ・エンジン MQL加工システム
- ・トランスミッション ハードブローチ加工システム



世界三極の営業統括拠点・機能を強化

- ・アセアン(タイ)、ヨーロッパ(ドイツ)、アメリカ(ミシガン、インディアナ)

19

「活性化」する

人材を活性化

働き方、意識を変え、意欲を引き出し、生産性をあげる

- ・一人1タレント活動を実施(資格取得活動を強化)
- ・フリータイム制の勤務体系を導入
- ・不二越ものづくりカレッジを開設(不二越工業高校を活用)

サプライヤーを活性化(層別・関係強化)

- ・ナチ・サプライヤーの集い、不二越ものづくりの集い、設備協力会社の集い

流通を活性化

- ・アジアの流通店会を強化(中国、韓国、台湾、アセアン)
- ・専門店会を拡充(ロボット、特殊鋼ほか)
- ・セミナー、研修会を充実

20

2005年11月期の計画

(単位:億円)

	2004年度 実績(A)	2005年度 計画(B)	増 減 (%) (B) - (A)	中期目標 (2006年) 2003/12策定
売上高	1,588	1,700	(+7.0%) + 111	1,560
営業利益	(6.3%) 100	(7.1%) 120	(+19.7%) + 20	(7.4%) 115
経常利益	(5.3%) 84	(6.2%) 105	(+24.1%) + 20	(6.4%) 100
ROA	6.6%	7.7%	+ 1.1 ポイント	8.0%
有利子負債	532	480	52	550
D/Eレシオ	1.4倍	1.1倍	+ 0.3 ポイント	1.5倍
人 員	5,249人	5,300人	+ 51人	5,200人

21

NACHI

<http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

問い合わせ先 経営企画部

TEL 03 - 5568 - 5210

FAX 03 - 5568 - 5215

E-mail : kikaku@nachi-fujikoshi.co.jp

本資料には、将来の業績見通し、事業計画等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提にもとづいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。